

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北関東)	◎	－	－
	○	商店街（代表者）	・暖冬だとしたら、高齢者は趣味や孫との外出機会が増えるのではないかと期待している。
	○	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・お歳暮用品等の贈答品が動くのみで、多少良くなるのではないかと期待している。
	○	コンビニ（エリア担当）	・週末の移動客が顕著に多く、客単価も直近数か月に比して上昇傾向にある。加えて高単価のギフト菓子の自家需要もみられるなど、観光客以外の通勤通学客の消費も活発といえる。
	○	コンビニ（エリア担当）	・年末年始にかけては、来客数が多くなる。
	○	住関連専門店（店長）	・物価は上昇しているが、賃金も上昇しているため、やや良くなる。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・年末の間合せや予約が入ってきているため、何だかんだ言っても、年末年始は動きがあると予想している。
	○	一般レストラン（経営者）	・秋の行楽シーズンになるとイベントが増え、人出も増えるため、良くなるかと予想される。
	○	都市型ホテル（経営者）	・客は徐々にであるが、新型コロナウイルス感染症発生前の水準に戻ってきている。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・前年比104%と相変わらず好調な宿泊予約がけん引する形で、レストランの朝食売上を確保することができ、相乗効果でランチにもぎわいを見せている。これからの忘年会や新年会需要をうまく取り込もうと、小グループ向けの期間限定プランも発売しているが、まだ受注し切れていない。前年と比べても件数は減っているため、何とか件数を増やしていきたい。
	○	美容室（経営者）	・販売促進費を掛けて、大学生向けに来店キャンペーンを仕掛けてみる。
	○	設計事務所（所長）	・衆議院議員選挙後に、景気が良くなることを期待している。
	□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・このところ、ずっと同じ状態が続いている。また、政界に変動があったので、予測は難しい。
	□	一般小売店〔土産〕（経営者）	・北関東の山間部に位置するため、紅葉の名所であるが、例年にない酷暑だったためか、今年の紅葉は余り美しくない。しかし、観光客の来訪が鈍ることはない。コロナ禍で外出を控えていた高齢の方が、家族に車いすを押されながら来訪する姿を多く見掛ける。有り難いことに街中を往来する観光客や自動車の数は例年と比べて多いのだが、近隣の宿泊施設では、人的資源の集中のため、あえて定休日を設定して運営している施設も多いと聞く。コロナ禍を経て、熟練者が辞めた穴を埋め切れず、人材確保に苦慮する施設は、宿泊業だけではなく様々な業種に広がっている。
	□	百貨店（営業担当）	・お歳暮ギフトや年末商戦が始まるが、依然として物価高など、消費マインドが改善する材料は見当たらない。現状維持か、ややマイナスを予想する。
	□	百貨店（営業担当）	・客は大型セールを実施しても、必要な物のみを購入する堅実な買い方をしている。年末に向かって様々なモチベーションで買物の機会はあるが、必要な物の価格と内容をよく吟味して購入していく想定である。
	□	スーパー（総務担当）	・衆議院議員選挙が終わり、どのような政策が出されるかによって、景況感は変わるかもしれない。
□	スーパー（商品部担当）	・現状より良くなる要素が見当たらない。悪い状況のまま推移すると予想する。	
□	家電量販店（営業担当）	・季節商材の立ち上がりが悪く、前年比70%で推移している。エアコンの販売促進を企画しているが厳しい。映像関連も前年比80%、パソコン関連も75%と苦戦している。11月は成約率を高めるよう接客に注力をしていく。	
□	乗用車販売店（経営者）	・最近では新車販売が落ち込んで、比較的低価格の中古車販売が増えている。また、大規模小売店には来客はあるものの、購買品を持っている客は半分程度のものである。	

□	乗用車販売店（従業員）	・受注残の状況に大きな変化はないが、現状は減少傾向にある。
□	自動車備品販売店（経営者）	・身の回りに景気が良くなるとか上昇するような話はまずない。人口が減少していることもあり、将来に対してどうしても不安が残っている。政治的にインパクトのある前向きな政策を掲げてもらうことが期待される。
□	住関連専門店（仕入担当）	・冬の天候になれば、多少改善はするとみているが、季節商材の初期のマイナス分はカバーできない。政局も不安定ななか、消費について楽観的な期待はできない。
□	一般レストラン（経営者）	・良くなる要素がない。
□	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルス感染症発生前の2019年を超える月も出てきている。
□	旅行代理店（従業員）	・災害等で国内需要が増加しない。
□	旅行代理店（営業担当）	・10月からの価格上昇が、徐々に生活に影響している。今後の動向を注視したい。
□	タクシー運転手	・これ以上悪くならないでほしい。
□	タクシー（経営者）	・昼の動きは少し良くなったが、夜の動きが良くないため、この先も変わらない。
□	通信会社（社員）	・近い将来では変わらないとみているが、政局の動向は注視している。
□	通信会社（営業担当）	・季節要因として年末の消費は増えるが、基本的な市場環境が変わらないため、変化はない。一部ではインバウンド等の効果による景気回復はあるとみているが、物価高のため節約志向は変わらない。
□	通信会社（総務担当）	・漸減傾向は変わらないが、12から1月の商戦期にはやや販売が盛り返すと予測する。
□	テーマパーク（職員）	・このまま天候に恵まれた週末が多ければよいが、3か月後は3連休のない月のため、来園者が増加するとは考えられない。
□	ゴルフ練習場（経営者）	・手作り品等の商材は製造が間に合わず、入荷がない。
□	ゴルフ場（従業員）	・年末年始の予約動向は前年より鈍く、旅行需要が高まる予測が出ているため、苦戦しそうである。
□	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・物価が高騰しているため、節約意識も高まっている。
▲	百貨店（店長）	・天候の影響に加え、8月後半頃から国内株価の乱高下等の影響もあり、客の財布のひもが固まっている印象が強い。寒くなり、ファッションに動きが出ればよいが、秋冬商戦には不安がある。
▲	コンビニ（店長）	・現在発行されている当市のプレミアム付商品券も残りはかなり少なくなるだろうとみているため、先行きはやや悪くなる。
▲	衣料品専門店（販売担当）	・年末年始に向かう3か月だが、年末に向けての客に対する希望的観測はあるものの、現状だと、客には年末という感覚もなく、雰囲気的にも盛り上がりがない。今までどおり、じりじりと緩い下り坂を転げ落ちていくような感覚は拭い切れない。
▲	家電量販店（店員）	・買換え促進の施策がなければ厳しい。
▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・経費の最大項目である人件費が、最低賃金の引上げにスライドする形で給与全般に波及してくる。食材費もまちまちではあるが、値下がりには期待できない。収支確保は続いていくと考えている。
▲	旅行代理店（所長）	・オフシーズンに向かい、低下傾向と考えられる。インバウンド次第ではあるものの、これまで順調に伸ばしてきたインバウンド需要もさすがに冬季は冷え込むと想定している。
▲	通信会社（局長）	・インバウンドや輸出関連は良いかもしれないが、国内の物価高はどこまで上がるのか予想もできず不安が広がっている。買い控えや節約志向が一段と強くなると予想される。
▲	美容室（経営者）	・厳しい言い方になるが、商業については都会と地方で比較する意味がないと思っている。また、若年層と高齢者では購買意欲も全く違い、行動量も違う。2極化した社会になってしまっている。
▲	住宅販売会社（経営者）	・衆議院議員選挙の結果次第ではあるものの、不安定な状況になることが予想され、悪い現状のままとなる。

	▲	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・客の状況は現状と余り変わらないとみているが、当社の人手不足は深刻で、せつかく来た依頼を断るケースが増えてきており、失注が増える見込みがある。	
	×	商店街（代表者）	・地元の公共事業で橋の架け替え工事があり、通行止めが発生している。1年以上の景気停滞が見込まれる。	
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・職業柄、繁忙期は過ぎてしまったため、今後は閑散期に入り、売上の的には落ちてくる。客の動きが鈍いことは確かである。	
	×	コンビニ（エリア担当）	・イベントによる来客数の増加は、実際に日を追うごとに増えた実感がある。9月よりも10月の方がかなり増えていたが、今後はイベントも減るため悪くなる。	
	×	旅行代理店（経営者）	・繁忙期が終わるため、業界全体で単価を下げ仕事を取り合いを始めると、悪くなる。	
	×	通信会社（経営者）	・ハイペースな最低賃金の上げは、地方の中小企業をますます弱体化させている。円安メリットで利益を内部留保しているのは大企業ばかりで、多くの中小企業は円安が逆風になっているのではないだろうか。地方では既にスタグフレーション状態である。	
企業 動向 関連 (北関東)	◎	—	—	
	○	化学工業（管理担当）	・12月以降は受注量が多く、生産に追われる予定である。	
	○	金融業（営業担当）	・金利のある経済への移行や、インフレに進むことが考えられるため、景気は上向くのではないかと。	
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・需要期を迎えるため、期待している。	
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車分野では大きなバックオーダーを抱える車種も増産計画は出てこない。ロボット分野も新規導入設備が遊んでいる状況が続く見込みで活況には程遠い。	
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・製造業全般の様子が上向いていない様子なのが残念である。	
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・この2～3か月は仕事量が増えてやや良いが、この先は全く不透明でどうなるか分からない。	
	□	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主要取引先の生産が安定せず、計画していた生産数よりも少なくなっている。いまだ先の見えない状況が続いている。	
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・物価高の状況等もいまだ続いている。	
	□	建設業（総務担当）	・年度末に向かうにつれて、仕事量的には現状と余り変化はなさそうな空気感である。	
	□	輸送業（営業担当）	・年末に向かい、暖房家電、こたつ、ヒーター、加湿器、エアコン等の物量は前年並みを確保予定である。また、寝具等も例年並みの物量を確保予定である。運賃自体が上がっても、その分燃料費の高騰や協力会社のコスト高もあるため、利益は薄くなりそうである。	
	□	経営コンサルタント	・大手企業の賃上げや年末のボーナス支給状況次第だが、年末需要の増加に伴って、それなりの効果が期待できる。しかし、地域企業の受注、売上の動向は不透明で、業績回復が遅れそうな懸念もある。	
	□	司法書士	・当業界は皆同じで、相続登記の義務化が大変大きく影響している。	
	□	社会保険労務士	・新しい政策や経済対策がなければ、今のままの景気が続く。	
		▲	食料品製造業（経営者）	・物価、資材価格や光熱費等の上昇で、景気が悪化していくのではないかと。
		▲	金属製品製造業（経営者）	・取引先の発注予測によると、この先はやや悪くなる。
		▲	電気機械器具製造業（経営者）	・材料費が高騰しており、受注が増えたとしても赤字が増えるだけで、仕事を受けても意味がない状態である。
	×	不動産業（管理担当）	・募集を掛けてもなかなか人が採用できなかつたり、賃貸の空室も埋まらない等、売上や利益の増加に結び付かない話が多い。	
雇用 関連 (北関東)	◎	—	—	
	○	人材派遣会社（管理担当）	・食品製造派遣に関しての増員が決定しているため、やや良くなる。	

<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・建設関連も含めてだが、全体的には人手不足が影響している。外国人労働者が目立つようになっている。需要に対して物価高がどんどん重くのしかかってくるため、かなり買い控えも見受けられる。年末に向けて、各種イベントがあるが、子供の欲求を満たしながら大人の欲求も満たすことはなかなか難しいようである。	
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・円安の関係で、観光地である当地にはインバウンドが変わらず来てくれている。現状が続けば、海外からの観光客の来訪も続くのではないかと見ている。今後はどうなっていくのかというところだが、周りの物産店や他の商店等、当社も含めてだが、大分良くなるという見通しは変わらない。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・主要産業の新規求人の動向について、医療、福祉分野は増加傾向で推移している。建設業や製造業は減少傾向である。卸、小売業、サービス業については増減を繰り返している。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（副校長）	・求人の多さが人材不足を反映しており、年末に向けて消費行動は高まるとみている。ただし、企業の運営には懸念があるため、変わらないのではないかと見ている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	人材派遣会社（社員）	・国内外の情勢が不安定で見通しが立てにくいため、やや悪くなるのではないかと見ている。
	<input checked="" type="checkbox"/>	*	*